

防コミの歩き方



東灘区内初！小学生だけの防災ジュニアチーム発隊

●新たな扉を開く瞬間 MKBT 発隊！！

現在、東灘区には4つの防災ジュニアチームがありますが、いずれも中学生主体のチームです。

7月5日午前、東灘区の本山第三小学校区防災福祉コミュニティで、東灘区初となる小学生だけで活動する「もとさん子ども防災チーム(MKBT)」が発隊しました。本山第三小学校に集った13名の小学生は、少し緊張しながらも背筋を伸ばして「はい！」と元気いっぱいに、任命書を受け取りました。発隊式を見守る保護者や地域の皆さんの温かな拍手が、新しい物語の幕開けを祝福するように会場内に響き渡りました。



●絆を未来へつなぐ、託す願い

この節目の発隊式で、三者三様の言葉が子どもたちの胸に刻まれました。

最初に本山第三小学校区防災福祉コミュニティの山下会長は「震災から30年の経験を、次の世代へつなぐ絆に変えましょう」と語り、地域の歴史と培った絆を未来へとつなぐ大切さを伝えました。

続く本山第三小学校の岡田校長は、「『何ができるかな？』と自分に問い続け、思い切って挑戦してください」とエールを贈り、自発性と勇気を後押し。

最後に東灘消防署の斉藤署長は、「なぜこうするのかを考えながら取り組むことで、本当の力が身につきます。楽しむ気持ちを忘れずに」と助言し、学びの楽しさが生きる力に繋がることを伝えました。

これらの言葉は、子どもたちが「守られる側」から「守る側」へと歩みを進める背中をそっと押し、会場をあたたかな希望で満たしました。



●防コミの取り組みと地域の支え

このジュニアチームは、日頃から防コミが築いてきた「顔の見える関係」を土台にしています。防災活動を通じて、子どもと大人がともに学び合い、支え合う場を実現していきます。保護者や地域の方々の協力で、子どもたちは自信と責任感を少しずつ積み重ね成長していきます。

(東灘消防署青木出張所 河合龍治)

